

資源管理手法検討部会における意見表明について

1. 対象となる水産資源

カタクチイワシ瀬戸内海系群

2. 参考人

氏名	藤井 義弘
所属又は職業等	岡山県漁業協同組合連合会 参与 (公財) 岡山県水産振興協会 専務理事

3. 御意見等

(1) 全体に関する御意見（本資源全般に係る御意見があれば、御記載ください。）

岡山県においてカタクチイワシを漁獲している漁業は以下のとおりである。 1. 知事許可漁業 いわし船びき網漁業、餌料いわし袋待網漁業、小型底びき網漁業 2. 漁業権漁業 小型定置網漁業 いわし船びき網漁業、餌料いわし袋待網漁業では、2カ月齢までのカタクチイワシを含むシラス類が漁獲されており、小型底びき網漁業及び小型定置網漁業では3カ月齢以降のカタクチイワシ漁獲されている。ただし、小型底びき網漁業及び小型定置網漁業の総漁獲量のうちカタクチイワシが占める割合はごくわずかである。 資源評価は2カ月齢までのカタクチイワシを除外して算出されたものであり、数量管理については3カ月齢以降のカタクチイワシに対して設定されると認識している。ステークホルダー会合においては、このような管理を導入することになった経緯について、漁業者に対して丁寧にご説明いただきたい。
--

(2) 各論に関する御意見（各項目に関係する御意見があれば、御記載ください。）

① 検討の対象となる水産資源の漁獲報告の収集体制の確認

漁業法に基づき知事許可漁業及び漁業権漁業を行う漁業者に対して漁獲量の報告が義務付けられており、カタクチイワシの漁獲量を収集する体制が整っているが、現在は四半期ごとに報告を県が受けており、即時的なデータ収集が困難である。
--

② 資源評価結果に基づく資源管理目標の導入に当たって考慮すべき事項

--

③ 検討すべき漁獲シナリオの選択肢、漁獲シナリオを採択する際の注意事項

--

④ 数量管理を導入・実施する上での課題及びそれら課題への対応方向

岡山県における３ヶ月齢以降のカタクチイワシの漁獲は小型底びき網漁業及び小型定置網漁業による混獲が主体である。魚種及び漁法の特性から再放流は困難であることから、数量管理導入により休漁を余儀なくされた場合漁業経営に与える影響が大きい。

⑤ 数量管理以外の資源管理措置の内容（体長制限、禁漁期間等）

前述したとおり、本県においては３ヶ月齢以降のカタクチイワシを主目的とする漁法が無く、漁獲量もわずかであるため体長制限や禁漁期間は設定していない。なお、２カ月齢までのカタクチイワシを含むシラス類を漁獲するいわし船びき網漁業、餌料いわし袋待網漁業においては、漁業者の自主的な資源管理措置として休漁期間が設定されている。

⑥ 予め意見を聞くべき地域、漁業種類、関係者等の検討

地域：県内全域
漁業種類：いわし船びき網、餌料いわし袋待網、小型定置網、小型底びき網
関係者等：上記漁業に従事する漁業者及びその関係者

⑦ ステークホルダー会合で特に説明すべき重要事項

岡山県内の漁業者は２カ月齢までのカタクチイワシを含むシラス類の資源管理措置について関心が高いので、シラスを含めたカタクチイワシの資源評価・資源管理についてご説明いただきたい。

⑧ 管理対象とする範囲（大臣管理区分、都道府県とその漁業種類）

岡山県：小型定置網漁業、小型底びき網漁業

（３）その他（御質問等があれば、御記載ください。）

--